

横浜市南区社会福祉協議会

福祉教育実施の流れ

① お電話や窓口で相談

福祉教育ってどんなことができるの？
こんな企画や授業を実施したい！など、
まずはお気軽にご相談ください。
ご希望に沿ったご提案をします。

② 相談依頼書の提出

ご希望の内容・日程・時間帯・
人数などの必要事項をご記入の上、
FAXまたはメールにてご提出ください。
※ホームページよりダウンロード可



③ 企画・調整

依頼書をもとに、相談をしながら企画・
調整を行います。

④ 事前打合せ

実際にお顔合わせをしたうえで、
会場・事前準備に必要なことなどの
確認、福祉教材貸出の調整を行います。

⑤ 福祉教育実施

⑥ 振り返り

今後の福祉教育実施に役立てるため、
感想をお聞かせください。
福祉教材の返却もお願いします。



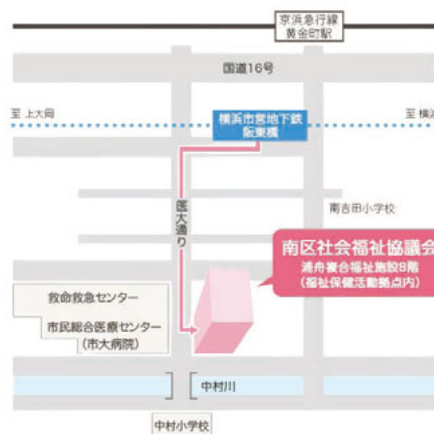
お問い合わせはこちら 横浜市南区社会福祉協議会

電話番号

045-260-2510

FAX

045-251-3264



横浜市南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階

● 阪東橋駅より徒歩10分

受付時間 月～金曜日 9:00～17:00

是非ホームページもご覧ください！

<https://minami-shakyo.jp/work/education/>

スマートフォンの方は
二次元コードから
ご確認ください▶



横浜市南区
社会福祉協議会

福祉教育

の進め方



福祉教育は、「ふだんのくらしのしあわせ」
をつくるための学びです。

ふくしも何かのきっかけやふれあい、
関わりが少しでもあれば、
我が事になっていきます。
我が事にするきっかけづくりとして、
ぜひ福祉教育をご活用ください。

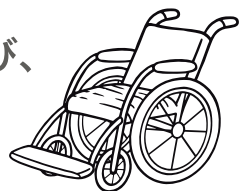


このリーフレットは、赤い羽根共同募金
の配分を受けて発行しています

横浜市南区社会福祉協議会では こんな福祉教育を提供しています

車いす体験

車いすの基本的な
使用方法について学び、
乗車体験や
介助体験も行います。



障害当事者講話

当事者の方に依頼をして、
日頃の生活や受講者の
皆さんにお願いしたい事などの
講話をしていただきます。

高齢者疑似体験

高齢者疑似体験セットを活用して
高齢者の疑似体験が出来ます。

手話体験・点字体験・誘導體験

ボランティア団体の方に
ご協力いただき、
講座や体験を
実施します。



認知症サポーター養成講座

地域の方や地域ケアプラザの
職員の方に依頼をして、
認知症に関する講話を
していただきます。



その他（ふくしの講座）

障害、災害、赤い羽根共同募金
などふくしに関する講座を
実施します。

 これらの福祉教育を通して、
みなさんの身近にある困りごとに気づき、
 自分たちができることを考えるきっかけ作りを行います

ご依頼いただく際のお願い

1 目標・目的は明確に
福祉教育に参加する方々に向けて、
「理解してもらいたいこと」、
「感じてもらいたいこと」、
など明確な目的、
目標を立てていただいた上で
ご依頼ください。

2 ご連絡はお早めに
ボランティアや講師の方との
日程調整に時間を要するため、
2か月前を目安に
ご連絡をお願いします。

また、講座の希望日は3日程
ご用意いただけますと幸いです。

3 振り返りを大切に
実施後の振り返りが大切です。
福祉教育を通して学んだことや、
感想の共有など事後学習の
実施をご検討ください。